

土木D&I 2.0へむけた 活動の場とツールをつくる

佐々木 葉（ダイバーシティ推進委員会）

土木界でも ダイバーシティ推進機運高まる

土木D&I
1.0

背景

属性別に
個別取組

裾野の
広がり不十分

アウトカム
未確認

取組

目的A
アクティブな活動を支える
プラットフォーム

目的B
実態・成果の意識化・展開の
ための土木界向けツール

【A-1】 目的に応じた場

【A-2】 外国出身技術者の場

【A-3】 推進組織

【B-1】 既存主体のコラボによる
調査 & Discussion

【B-2】 土木界向けツール開発

【B-3】 プロモーションと
フィードバック

成果

ダイバーシティの対象の拡大・裾野の拡大

土木界のダイバーシティ&インクルージョンの進展

土木D&I
2.0

将来

土木界の人材成長・土木学会収益改善

背景（これまでの活動実績を含む）

- 土木学会では、D&I宣言、多様な属性の会員やステークホルダーによるアクションが、行われている。
女性（ダイバーシティ推進委員会）、シニア（成熟したシビルエンジニア活性化小委員会、CNCP、CVV）、若手（若手パワーアップ小委員会、各支部若手技術者交流サロン担当）等
- これを受けて、土木界でもダイバーシティ推進の機運高まっている。

しかし…

- 属性ごとに独立した対応にとどまる。
- 地方や小規模組織には浸透していない。
- 規範となるガイドラインや先進事例は土木界の実情とは異なっており、そのまま適用できない。
- D&Iの推進によって、どのような成果が得られているかが明らかではない。

プロジェクトの目的

【A：アクティブな活動を支えるプラットフォーム】

これまで推進してきた土木学会のD&Iの成果と活動実態をふまえ、女性に限定しない対象の拡大と、取り組みの裾野の拡大をはかる。

【B：実態・成果の意識化・展開のための土木界向けツール】

それぞれの職場においてD&Iの進み具合、成果を意識化することで、土木界のD&I進展をはかる。

活動の柱

- 【A】 土木学会におけるダイバーシティ推進の様々な取り組みを共有し、機運をさらに盛り上げるためのアクティブなプラットフォームをつくる。
- 【B】 土木界に適した、ダイバーシティの実態や成果が意識化でき、さらに推進する方策を検討するために参照可能なツールを提供する。

これらを既存の活動主体やACECCなどとの交流によって推進する。

プロジェクトの中期重点目標への貢献

中期重点目標	JSCE2020 取り組み	本プロジェクトの貢献
1. 安全・安心	②市民との良好なコミュニケーション	市民，土木技術者，土木学会員の交流の基盤の一つを提供する。
2. 国際	①グローバル人材の育成	日本在住の外国出身の技術者の交流の場を提供し，これらの技術者が活躍する環境を整備する。
3. コミュニケーション	①公平，中立的，効率的なコミュニケーション活動	マイノリティであるがゆえにこれまで露出機会の少ない主体が活躍する。
	②アーカイブ機能の設置と運用	技術者のオーラルヒストリのコンテンツを提供する。
4. 人材	①教育プログラムの提案	多様な技術者を支えるための，組織に対する教育コンテンツを提供する。
	④ダイバーシティ確保のための環境整備	土木界における多様性確保のための，活動のプラットフォームの運用，ダイバーシティ推進の実態把握と改善診断のツールを提供する。

プロジェクトの実施内容

目的A アクティブな活動を支えるプラットフォーム

【A-1】 目的に応じた場

- 土木D&Iに関する**情報の集約と発信**
- プロジェクトメンバーのモデレートによる、**関係主体のゆるいネットワーク化**（委員会、支部、業界団体等）

【A-2】 外国出身技術者の場

- 外国出身技術者が**集まる機会の設置**や、**登用の働きかけ**
- 土木学会による在日外国人会員、技術者向けサービスのBottom lineの確保（**英語による情報発信の増加**）

【A-3】 推進組織

- 国際センター、ACECC 担当委員会、TC24 (Gender And Development)、JICA等の活動との**連携**
- 土木学会における**担当部署の設置検討**

目的B 実態・成果の意識化・展開のための土木界向けツール

【B-1】 既存主体のコラボによる調査&Discussion

- 土木D&Iの**実態把握**
- 国内外、他業種等の**事例研究**

【B-2】 土木界向けツール開発

- 地方や中小企業でも利用できる、土木D&I 実現ツールの開発（現状の診断の「**わが社のD&I進展度チェックリスト**」、対応方策のメニューと判断を行う「**わが社がこれからすべきこと発見チャート**」（いずれも仮称）等

【B-3】 プロモーションとフィードバック

- ツールの普及と改善のための、**支部や他委員会との協力によるプロモーションとフィードバック**の会合、討論会、講習会等

プロジェクトの実施体制

- **土木学会内**

- リーダー 佐々木葉
- 幹事：ダイバーシティ推進委員会、成熟したシビルエンジニア活性化委員会
- テーマに応じて、支部、委員会

- **関係する外部組織（*未打診）**

- 建設関連団体、国交省
- ACECC TC24 (Gender and Development (GAD))
- ASCE ダイバーシティ関連委員会（Diversity by Design 編集担当）

- **幹事団の構成**

- ダイバーシティ推進委員会幹事長：米山賢
- 企画委員会：加藤隆、山田菊子

期待される成果（3年後・5年後）

目的A

アクティブな活動を支える
プラットフォーム

目的B

実態・成果の意識化・展開の
ための土木界向けツール

土木D&I
1.0

3年後

「土木界のダイバーシティ関連報」が集約されるプラットフォームが定着し、様々な情報が one-stop でアクセスできる。ダイバーシティの対象が、女性から拡大し、学会内でも可視化される。

ツールが発行される。
全支部で討論会や講習会が開催され、適用事例の蓄積が進む。

5年後

土木学会内に担当部署が設置される。

ツールの改訂版の検討が進む。

土木D&I
2.0

成果

ダイバーシティの対象の拡大・裾野の拡大

土木界のダイバーシティ&インクルージョンの進展

将来

土木界の人材成長・土木学会収益改善